第１学年○組　学級活動（１）指導案

令和3年○月○日（○）第○校時

指　導　者　　　○　○　○　○

１　議題　「あきのおたのしみかいをしよう」（ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決）

２　議題について

（１）児童の実態

　　男女ともに仲が良く、休み時間には「あそびがかり」を中心に何人かで遊びやルールを決めて一緒に遊ぶ姿が多く見られる。本学級の児童はこれまでに５回の学級会を経験しており、どれも意欲的に参加している。自分たちで内容を決めていくことに達成感を得ている児童も多く、次回の学級会をとても楽しみにしている。一方で、話合いの中で同じ人が何度も発表したり、自分の意見に固執したりして、なかなか決定しない場面も見受けられる。児童にはその都度、他者の意見も受入れ、折り合いをつけることができるといいねと伝え、そのようにできている児童を称賛することで気づきをもつことができるようにしている。

学級会は今回が６回目で、教師が進行して進めることに、慣れてきている様子が見られる。また「おてつだいグループ」として、計画委員の役割にもチャレンジできるよう分担を始めたところでもある。学級会ノートを使い始め、あらかじめ意見を考えることもできるようになったり、そこに書いた意見を発表したりすることもできるようになってきている。しかし、学級会ノートには自分の意見を書いているにも関わらず、学級会では発表が出来ずにいる児童が一定数いる。本校が行った学級会アンケートでも、学級会が好きであると答えた児童が９３％と多い一方で、理由をつけて話すことにまだ難しさを感じている児童が１８％（６人程度）いることが分かった。そこで自分の意見を理由とともに発表できるように、発表の仕方の掲示物を使っていつでも確認できるようにした。意見を発表する際の負担を軽減し、児童の思いを少しでも多く学級会に反映させたいと考える。

また、まだ学級会の回数を重ねていないため、現在は「全員が学級会に慣れて、楽しみな時間だと思えるようにする」ということを目指している。そのために、意見を考えやすく、イメージの共有化を図りやすい「なにをするか」「やくわりぶんたん」を話し合うことに設定している。この流れに慣れてきたら、「工夫」についても話し合うことができるようにしたいと考えている。

（２）議題選定の理由

　　　本議題は、「秋という季節を感じながらお楽しみ会をしたい」という思いのもと選定された議題である。これまでにも、「１学期がんばったね会」や「２学期もよろしくね会」などの集会を議題にした学級会を行ってきた。今回はこれまでに行った集会に、秋という今の季節にあった楽しみ方をしたい、という想いが込められている。また生活科で季節のものをつかった遊びをたくさん経験していることから、自分たちでも秋のものを使った遊びを考えてみたい、という声もあった。

他にも、「おにごっこ大会をしたい」という議題もあったが、今の時期にふさわしい議題にしたいという考えのもと、おてつだいグループ（※）と検討したのち、今回の議題に選定され、その後、全員に諮り決定された。

今回の学級会では、これまでやってきた集会の内容に「自然とのふれあい」を加えることで、季節を意識したり感じたりしながら、楽しむことができるようになることを目的の一つとしている。ただみんなで遊ぶだけではなく、あそびの中に秋という要素を入れて、日本の四季の良さを感じるきっかけにしたい。また、発表の際には「やってみたいから」「楽しそうだから」以外にも、提案理由にそった意見の理由が言えた児童を賞賛し、その良さを全体に広めていきたいと考えている。

（※）計画委員のことを指す。計画委員は１年生児童になじみのない言葉なので、児童が楽しく活動できるよう、「おてつだいグループ」と呼んでいる。

３　第１学年及び第２学年の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| よりよい生活を築くための  　知識・技能 | 集団や社会の形成者としての  　思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係を  　よりよくしようとする態度 |
| みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。  話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。 | 学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。 | 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。 |

４　事前の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　時  活動の場 | 児童の活動  ○おてつだいグループ ●全員の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿  【観点】（評価方法） |
| ○月○日(○)  業間休み | ○議題ポストを確認し、選定する。  ＜提案された議題＞  ①「おにごっこ大会がしたい」  ②「あきのおたのしみかいがしたい」 | ・議題選びの視点を念頭に置いて選定することを指導する。 | ◎学級生活を楽しくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。  【態】（観察） |
| 帰りの会 | ●議題を決定する。 | ・教師とおてつだいグループの提案のもと、学級全員で決定する。 |  |
| ○月○日(○)  昼休み | ○おてつだいグループの役割分担をする。  ○教師中心に、活動計画を作成する。（提案理由、めあて等） | ・提案者の思いや願いが学級全体の共同のものになるように提案理由を深めるようにする。  ・日時や場所などの条件を教師が設定する。 |  |
| ○月○日(○)  業前 | ○話し合うことを全員に知らせる。  ●学級会ノートに自分の考えを記入する。 | ・話し合うことや決まっていること（条件）を共通理解できるようにする。 | ◎集会の目的を意識しながら意見を考えようとしている。  　【態】（ノート） |
| ○月○日(○)  業前 | ○全員の意見が書かれた短冊（教師が用意）に目を通し、書かれた意見を確認する。 | ・話合いの見通しが持てるようにする。（どんな意見が出ているのか。） |  |
| ○月○日(○)  業前 | ●学級会コーナーに掲示してある意見の共有を図る。（どんな遊びなのか等） | ・どんな遊びなのか実際にやってみるなどして、児童がイメージの共有化を図ることができるようにする。 |  |

５　展開

（１）本時のねらい

　　　みんなで学校生活を楽しくするために、話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や、他者の意見の聞き方を学びながら、あきのおたのしみかいの計画を考えることができるようにする。

（２）児童の活動計画



（３）教師の指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 活動の計画 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿  【観点】（評価方法） |
| １　はじめの言葉  ２　おてつだいグループの紹介  ３　議題の確認  ４　提案理由の確認  ５　決まっていることの確認  ６　話合いのめあての確認  ７　話合い  　　話し合うこと①  　「なにをするか」  　　話し合うこと②  　「やくわりぶんたん」  ８　決まったことの確認  ９　先生の話  10　ふりかえり  11　おわりの言葉 | ・自分のめあてが言えるように、事前に指導する。  ・事前に短冊を学級会コーナーに掲示しておき、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。  ・提案者の思いや願いを学級全員に共有する。  ・日時や場所については、教師の方で決めておく。  ・めあてを掲示し、常に児童が意識できるようにする。  ・司会の児童には、挙手をする児童への指名を任せ、主な進行は教師が行う。  ・発表の仕方を掲示し、児童が理由を合わせて意見を発表できるようにする。  ・提案理由から大きくそれた場合は、教師が指導助言をする。  ・自分の意見に固執せず、納得した上で考え方を変えるなど、折り合いをつけることも必要であることを助言する。その際には、少数派の意見も疎かに扱われないよう、留意する。  ・分担を始める前に、各役割におおよその必要な人数を確認する。  ・係は必ず複数名で担当し、協力して活動できるようにする。  ・終末の助言では、①前回までの話合いよりも良くなったところ、②次回への課題、③おてつだいグループへのねぎらいについて簡潔に述べる。  ・よかった点や課題について自己評価するよう助言する。（友達の話をちゃんと聞けたか、自分のめあては達成できたか、等） | ◎全員に聞こえるように、大きな声ではっきりと発表している。  【技】（観察）  ◎友達の意見に耳を傾けしっかりと聞くなど、学級会に進んで参加しようとしている。  　【態】（観察） |

６　事後の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　　時 | 児童の活動 | 指導上の留意点 | ◎目指す児童の姿  【観点】（評価方法） |
| 【○月○日(○)  帰りの会】  【○月○日(○)  ～○月○日(○)  　　　休み時間】  【○月○日(○)  　　　　○校時】 | ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。  ・係ごとの準備をする。  ・「あきのおたのしみかい」  ・会終了後、振り返りシートの記入をする。 | ・活動の途中経過を適宜確認する。児童だけでは準備が難しい場合には、教師も助言に入る。  ・準備期間及び当日の自分の態度を振り返る。友達のよいところについても認められるよう助言する。 | ◎あきのおたのしみかいの目的を考え、友達と協力して取り組んでいる。【思・判・表】（観察、振り返りシート）  ◎あきのおたのしみかいを振り返り、自分や友達のがんばりを見つけようとしている。【態】（観察、振り返りシート） |